

業績書（教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 号関係）

氏 名	菊間 一宏	学 位	理学修士
担当授業科目	工学系数学Ⅵ Ⅶ，離散数学及び演習（前期） ／ 情報と社会，技術者倫理（後期）		

1 経歴，学会及び社会における活動等

＜経歴＞ ・横浜市立大学大学院総合理学研究科 修士課程修了：H4. 03 ・日本電信電話株式会社入社 交換システム研究所 配属：H4. 4 ・東日本電信電話株式会社 研究開発センタ グループリーダ：H20. 4 ・日本電信電話株式会社 ネットワークサービスシステム研究所勤務 ディレクタ：H25. 7 ・九州大学大学院システム情報科学府博士後期課程編入学：H28. 10	
＜社外活動＞ ・電子情報通信学会 次世代ネットワークソフトウェア時限研究専門委員会 幹事 ：H19. 4～H21. 4 ・電子情報通信学会 和文論文特集号 ” 次世代ネットワークソフトウェア” 編集委員会幹事：H20. 2 ・電子情報通信学会通信ソサエティ活動功労賞受賞（電子情報通信学会）：H21. 9 ・ICIN TPC Member (H28. 9～) ・電子情報通信学会 会誌編集特別幹事(WG-B) (H29. 6～) ・電子情報通信学会 ニュース委員会幹事 (H29. 6～)	

2 著 書

著 書 名	単著・共著の別	発 行 所 名	刊行年月日	備 考
・「光」の利活用促進に向けた NTT 東日本の R&D	共著	月刊ビジネスコミュニケーション Vol.50 No.1	2013	

3 学術論文等

学 術 論 文 等 の 名 称	単独・共同の別	発 表 雑 誌 等 名	発行年月日	備 考
・物理ネットワークセッション制御機能を利用した P2P ネットワーク制御	共同	電子情報通信学会	Feb. , 2017	
・継続的安定運用を目指した大規模通信システムの開発手法と評価	共同	電子情報通信学会	Dec. , 2018	

4 学会発表等

発表課題の名称	単独・共同の別	発表学会等の名称	発表年月日	備考
NGN の現状と発展に向けて（招待講演）	共同	信学技報, vol. 110, no. 69, IN2010-13, pp. 17-19	2010 年 6 月	
・ストレージ更改のデータ移行における平衡値低減の検討 .	共同	信学技報, vol. 115, no. 209, NS2015-82, pp. 65-70,	2015 年 9 月	
・規模通信ソフト開発環境への OSS ツール適用の評価	共同	信学技報, vol. 116, no. 322, NS2016-112, pp. 61-66	2016 年 11 月.	
・害時の安否確認におけるシステム間連携と構成法 ～ 安否確認システムの概要と実現機能の特徴について ～	共同	信学技報, vol. 116, no. 422, CAS2016-85, ICTSSL2016-39, pp. 41-46	2017 年 1 月	
・大規模通信ソフトウェア開発における試験項目自動作成,	共同	信学技報, vol. 116, no. 428, NS2016-146, pp. 29-34	2017 年 1 月.	
・SIP サーバにおけるサーバ仮想化/NFV 技術を適用したソフトウェアアップデートに関する一検討	共同	信学技報, vol. 116, no. 484, NS2016-215, pp. 331-336	2017 年 3 月	
・ Automatic Test Case Generation Method for Large Scale Communication Node Software	共同	The 6th International Conference on Emerging Internet, Data & Web Technologies (EIDWT-2018)	Mar., 2018	
その他全国大会等多数				

以 上